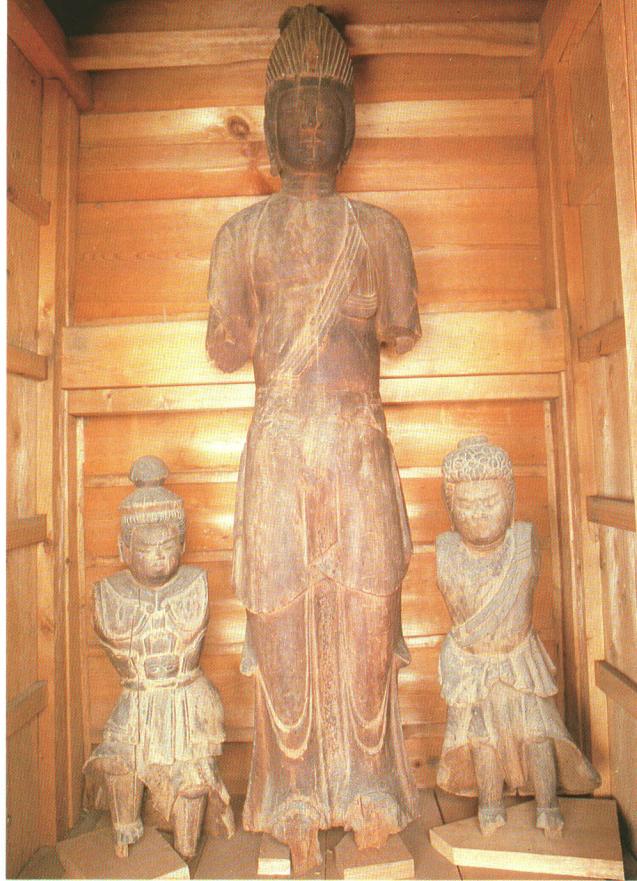


町指定有形文化財

古 絵 馬



木造聖觀世音菩薩立像



高さ195cmの巨大な仏像で天正17年（1589）塩生の館主平田五郎忠照の寄進せるもので髪を高く結い上げ庇立した宝髪の正面に阿弥陀如来の化仏が置かれ耳珰（耳かざり）がついているのが特徴である。素彫りであるが温かな面とふくよかな胸は観音の慈愛をよく象徴している。

木造不動明王立像



桧一本彫りの立像で火炎光背を付け瑟々座と呼ばれる岩座と華麗な框の台に立っており総髪に辨髪を肩まで垂らし条帛と下半身にまとう裳の曲線が美しい。「元禄9年（1696）奉修復」の銘があり手法より江戸初期の作と思われる。像高91cm

元禄16年（1703）6月22日水抜村猪股氏が小野觀音堂に奉納されたもので伊勢詣りが盛んな元禄時代は「お蔭詣り」とって長い日数をかけて念願がかなったお礼に奉納されたものと思われる。よこ26.6cm・たて52.3cm

木造地蔵菩薩立像



下を見る眼とその形状、鼻筋、口と面相、全体的に前傾姿勢になり下半身の大きさなどより江戸初期の手法と見られる。又この像は納衣に小紋様を配し極彩色で赤、青、金の彩色が施されているのが特徴で当地方の代表的な地蔵菩薩である。像高61.2cm